



司書のすすめる本シリーズ

こんな本が図書館にあるよ

絵：長野ヒデ子

“小さきもの”への愛情を伝えてくれる 子ども向けの本

「まどさんの詩」～百年の輝きを子どもたちへ～ 『てんぷらびりびり』まど・みちお／著 大日本図書 1968年刊（新装版が1990年に刊行）



まどみちおさんは1909年のお生まれとのこと。今年、100歳を迎えられるそうですが、59歳の時に出版されたのがこの『てんぷらびりびり』という自薦詩集。収録されている詩は、どれも身近なものや見慣れた風景をうたっています。

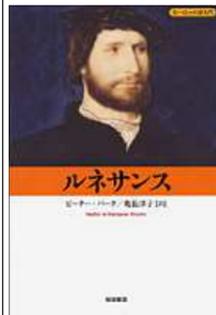
タイトルにもなっている詩は、“てんぷら びりびり”という印象的な言葉を使って、お母さんがお台所でてんぷらを揚げだしたひとコマを描き出し、その場の音や匂いまでが伝わってくるようです。タマネギのことを、壺の中にも壺、そのまた中にも壺、数え切れないほど入っていると表現しながら、“きらなければしょうがない”と締めくくる「タマネギ」には、そのユーモアに思わずクスリとした後で、タマネギはタマネギであるという真実をスッと目の前に示されてハッとしました。

この作者の手にかかると、道端の石ころや、手から落ちた赤いビーズ、ひとつぶのスイカの種までもが、こんなにも愛おしく、大きな存在なのだ感じられる言葉となり、詩となって、子どもたちへと伝わっていきます。そして、せかせかするあまりに大事なものを見落としていませんかと、私たち大人に問うているのかもしれない。（原ゆかり）

大人向けの本

歴史に親しむシリーズ

今回は、歴史好きの方にオススメするシリーズ物を紹介します。



まずは『全集 日本の歴史』小学館。すでに15巻まで刊行されています（2009年3月現在）。旧石器時代から現代までを16巻に分け、それぞれを一人の著者が書いていますので、「リレー論文集」といった趣があります。口絵の、美しいカラー図版も見どころです。

続いては、『地図で旅する日本の世界遺産』東京地図出版。「知床」、「姫路城」、など、一ヶ所につき一冊になっています。写真を多用して、世界遺産の解説をしています。ガイドブックにもなっていますので、世界遺産を訪ねてみたい、とお思いの方にもお勧めです。

世界に目を転じてみましょう。岩波書店の『ヨーロッパ史入門』があります。このシリーズは、通史ではなく、ヨーロッパ史の中の重要な項目（ルネサンス、帝国主義、魔女狩りなど）について、一冊に一つ取り上げています。著者は、ヨーロッパの第一線の歴史家たち。第一期10巻が完結し、現在は第二期が刊行中です。シリーズものとはいえ、1冊だけで読んでも大丈夫。興味のあるものから手にとってみてください。

（高橋宏子）



堀洋一郎氏のスケッチはホームページ「さまざまな水彩スケッチギャラリー」で公開されています。

図書館で知の旅へ

私と図書館

都筑区地域振興課係長 山田 洋

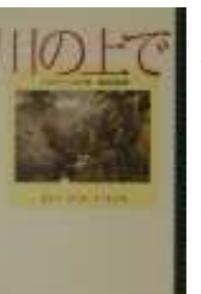
小学生の頃、野毛坂の横浜市立図書館（当時は「中央」ではなかった）まで自転車で10分くらいだったもので、たまに遊びに行っていた記憶がある。木陰が涼しく、古色蒼然とした白い建物が印象に残っている。何をしに行ったのかはあまり覚えていなくて、児童向けの文学書でも読んでいたのだろうか、それとも当時から好きだった鉄道関係の本を読んで（というよりは見て）いたのかもわからない。紅葉坂の県立図書館の方が家から近かったのだが、何となく敷居が高くてそちらには行かなかった。（実はいまだに無い。）人間の習性というものは、案外その頃に形成されるのか、はたまた自分に進歩がないのか、いまも図書館に行っても、立ち寄るのは小説のコーナーか鉄道関係のコーナーである。現在は、せつかくの「人間の叡智の杜」が職場の隣にあるのだから、杜の番人（司書さん）の案内でもっと多くの本に出会ってみようか。（もしかして、この決意表明をさせるために投稿を依頼されたのかも？）

ファン倶楽部の... 私たちのおすすめ本...



ほしとたんぽぽ 金子みすず童謡・矢崎節夫選・上野紀子 絵／JULA出版局

15の作品が絵と共に掲載されています。日本語の優しい響きがいつまでも心に残ります。高学年の子どもたちは勿論、昔の子どもたちにも是非味わっていただきたい優しく、そして厳肅な詩たちです。



「川の上で」 ヘルマン・シュルツ作 渡辺広佐訳 徳間書店 アフリカの村で生活する宣教師家族の娘が思い熱病になり、自国と同じ西洋式の病院で娘を看護してもらう為、父と娘で小舟で川を下る。途中、村々でアフリカ土着の病を治すための方法に回復していく娘を見て、始めはそれを拒否していた父もやがて受け入れていく。

病を癒すとはどういうことか考えさせられる。薬草の風呂やハッカのにおいのベッドやすりつぶした木を混ぜた粥で癒されてみたい。 annie



お知らせ

好評の「子どもと本」(つづき図書館ファン倶楽部発行・都筑区役所助成)が増刷されました。図書館などで無料配布しております。どうぞご利用ください。

つづき図書館 ファン倶楽部 通信 vol.28

2009年・春号

発行：つづき図書館ファン倶楽部

住所：〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央33-1 都筑郵便局留

電話：TEL・FAX 045-561-0582 (福富方)

トピックス：知ってますか？横浜市立図書館の予算

ただ今会員募集中！

つづき図書館ファン倶楽部は... 2000年3月都筑区制5周年記念として都筑図書館が「シンポジウム」を開催。参加した区民サポーター有志で図書館の価値を広める目的で結成しました。

年会費：一口1,000円(一口以上) 定例会：毎月一回

都筑図書館より 行事のお知らせ

○4区の大変貌展 講演会「都筑郡の歴史①～古代から横浜市編入まで～」

日時：4月5日(日) 14:00～15:30

会場：都筑公会堂第一会議室

申込：カウンターまたは電話でお申込ください

郷土資料展

日程：4月3日(金)～4月22日(水)

会場：都筑図書館

パネル展

日程：4月3日(金)～4月13日(月)

会場：都筑区民ホール

○子ども読書の日スペシャルおはなし会2009

日程：4月26日(日)

時間：1回目10:15～10:45 ひとりで聞ける子～新小学2年生
2回目11:15～12:00 新小学3年生以上
3回目14:00～14:30 ひとりで聞ける子～新小学2年生

会場：都筑図書館対面朗読室

申込：4月16日(木)9:30より、カウンターまたは電話で

○絵本コンシェルジュ

日程：4月22日(水)～24日(金)

時間：11:00～12:00、13:00～14:30

会場：都筑図書館児童コーナー

申込：不要です。直接会場へお越しください。

○定例おはなし会

日時：4月15日、5月20日、6月17日、7月15日 (毎月第3水曜日) 各回：15:00～15:30

会場：都筑図書館 対面朗読室

対象：ひとりでおはなしをきける子

申込：不要です。直接会場へお越しください

○くまさんのおはなし会

日時：5月14日(木)、6月4日(木)、7月9日(木)(8月1日休み) 各日 ①10:00～10:25 ②10:45～11:10 *①、②は同じプログラムです。

会場：都筑図書館 対面朗読室

内容：保護者の方と乳幼児と一緒に楽しめるおはなし会です。絵本やわらべうたを紹介します。

対象：2、3歳児および保護者 各回先着10組

申込方法：5月14日(木)開催分は4月30日(木)から
6月4日(木)開催分は5月21日(木)から
7月9日(木)開催分は6月25日(木)から
各9:30より受付開始。カウンターまたは電話でお申込みください。

○展示テーマ

児童書：4月 2000～2009 おすすめの本 5月以降未定

一般書：4月 科学を学びなおす 5月以降未定です！

○施設点検による休館日

4月20日(月)、5月7日(木)、6月15日(月)、7月21日(火)

○図書特別整理のため休館 6月9日(火)～6月11日(金)

○その他

広報よこはま都筑区版5月号で、開港百五十周年に関連して、郷土の資料をご紹介します。

